

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
こども環境管理Ⅰ・Ⅱ	1・2	前期	講義	1	青野 孝洋

○ 授業の到達目標及びテーマ

自然との触れ合いの中で、子どもたちの五感は刺激され、思いやる心や豊かな感性が育まれる。園では様々な戸外遊びにおいて、好奇心から探索や、探究心が育まれ、発見や工夫から、創造力や想像力、独創性が芽生え、子どもの心身の発達に大きく影響する。

本授業では、教育・保育で学んだ内容をさらに深め、地球人として自然への畏敬の念、協同することから生まれる新しい人間関係への発展が期待できる、自然環境の設定構成を目指す。自然には科学的なセロトニン他恵みが多くあり、子どもが自発的に季節や気候を五感で感じ、その中から遊びの広がりと共に協働から社会性も培ってくれることを本資格は担っている。また、資格取得後は、乳幼児期の大切な環境づくりを実践できる力を、自然を生かした園づくりをサポートできる役割を高める。本講義は2級科目になるが、積み上げ科目になるため1級も同講義となる。

○ 授業の概要

SDG sにより世界は16項目をパートナーシップとして掲げているが、地球人としての意識は高いとは言えない。自然災害による異常気象から、「命」の危険にさらされる現象が各国で顕著である。そこで、本講義では乳幼児期の人間形成の大切な時期の子どもたちの心身の安定や、健康に繋がるウェルビーイングについても、自然と人との共生を根幹に自然環境に関する基礎知識として考察する。この時期の自然に触れる経験や体験は、その後何にも代えがたい五感への刺激、感性の成熟に繋がることを探究する。本資格は、子どもたちの健やかで健全な心身を育む保育者を目指せる、また、保護者や地域から自然・環境教育に関する質問に自信をもって答えられる実力を目指したい。

その中で、「環境教育等促進法」に基づき、環境大臣・文部科学大臣によって、環境教育の人材認定事業に登録されている資格である。また、資質の向上を目指して、自然生態系の仕組みとその守り方を基本的な考え方として身につけ、地球人として俯瞰的な地球の声に耳を傾けられる専門的視点のある指導者を、育成する「こども環境管理士」資格取得にかかわる講義であり、各講義にて、ワークショップ及び発表を行う。

○ 授業計画

第1回 オリエンテーション、2級取得者の学び

【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、デジタルで教科書を調べて目を通す

【事後学修】授業で取り扱った内容の中から興味深い内容を、1つ詳しく調べノートにまとめる。

第2回 自然生態系について

【事前学修】イメージするビオトープについて調べ具体的に描く

【事後学修】食物連鎖について、ノートにまとめる。

第3回 自然生態系破壊の現状

【事前学修】地球上の自然破壊について、具体的に調べ学習する。

【事後学修】里山はどのように保たれるかを考察する。

第4回 自然の価値と役割について

【事前学修】精神的役割を可能な限り多くあげて、その理由をノートに説明する。

【事後学修】自然がなくなり、人工物だけの環境でおこりうるデメリットを考察する。

第5回 生物多様性と保全生態学

【事前学修】野生生物の絶滅危惧種について、具体的に10種あげて調べ学習する。

【事後学修】事前学習を発表するために考察する。

第6回 水をめぐる環境

【事前学修】世界の水の供給について、課題のある国について調べ学習する。

【事後学修】水環境の破壊に繋がる原因を考察する。

第7回 大気をめぐる環境

【事前学修】大気汚染について、その原因を調べ学習する。

【事後学修】自分のできる大気汚染予防に繋がるアクションを具体的に考察する。

第8回 土壌をめぐる環境

【事前学修】土壌の課題について、考察する。

【事後学修】土壌汚染予防について、具体的にできるアクションをノートにまとめる。

第9回 地下資源について I

【事前学修】地下資源が及ぼす生態系との関係を考察する。

【事後学修】貴重な地下資源を具体的にあげてノートにまとめる。

第10回 自然生態系を守るための法制度

【事前学修】環境基本法について、調べ学習する。

【事後学修】自然環境保全法について、考察する。

第11回 生物の多様性保全に関する主な条約

【事前学修】生物多様性条約について、調べ学習する。

【事後学修】ラムサール条約について、考察する。

第12回 ワシントン条約 世界遺産条約 気候変動枠組条約

【事前学修】各条約について、調べ学習をする

【事後学修】学んだ内容について、身近にアクションできる内容を具体的にまとめる。

第13回 鳥獣保護法 種の保存法 環境影響評価法 河川法

【事前学修】本講義の内容の中で興味のある法について調べ学習をする。

【事後学修】都市緑地保全法について、考察する。

第14回 持続可能な社会に向けて

【事前学修】自然公園法について、調べ学習する。

【事後学修】エコロジカルな国土施策について考察する。

第15回 ペオグラード憲章とトビリシ宣言について

【事前学修】全講義の環境知識を園の戸外遊びで、具体的にどう生かすかをノートにまとめる。

【事後学修】全講義の内容を自らの暮らし方に地球人としてどう生かすかを考察発表する。

定期試験（定期試験は講義内容に含まない）

○ テキスト

『環境を守る最新知識 ビオトープネットワーク ―自然生態系のしくみとその守り方―』財団法人
日本生態系協会 編著 信山社サイテック

講義で配布する「こども環境管理士」過去問題

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館

○ 学生に対する評価

授業への参加態度（意欲）30%、発表力30%、試験30%、課題レポート10%を総合的に評価する。